

# コースの概要

## アプリケーションの開発

GeneXus™

このコースでは、旅行代理店向けアプリケーションの開発を通じて、各トピックについて学んでいきます。できるだけ現実に近い状況を想定して開発を行いながら、プラットフォームや言語について学習します。

## 旅行代理店のアプリケーション



フロントエンドとバックエンドを作成していきます。フロントエンドは、Web ブラウザーやモバイルデバイスを使って操作する部分です。バックエンドには、サーバー上のプログラムや、データベース内の構造の作成と管理が含まれます。これから説明するように、GeneXus ではこれらすべてが 1 か所で実現できるため、このような分類は重要ではありません。アプリケーションが機能するために必要なものはすべて GeneXus によって生成されるため、開発者がプロジェクトの各パーツについて個別に検討する必要はありません。

アプリケーションの一部は、旅行代理店のスタッフのみが使用するもので、ツアーを実施している国、都市、観光名所に関するデータ、フライト情報、顧客情報などを入力します。この部分をバックオフィスといいます。これに対して、エンドユーザーを対象とする部分は「顧客向け」と呼び、各都市のツアーや主な観光名所を照会できるようにします。

バックオフィスと顧客向けの両方のアプリケーションを Web 環境用に開発します。また、機能の一部にはモバイルデバイスからもアクセスできるようにします。

## コースで扱うアプリケーションのパーツと使用するジェネレーター



説明したように、GeneXus はマルチプラットフォーム対応であるため、さまざまなプラットフォームやデータベースに向けて、さまざまな言語やプログラミングフレームワークでアプリケーションを生成できます。

この旅行代理店のアプリケーションのバックエンドは、SQL Server データベースを使用して .NET 言語で生成します。

フロントエンドについては、HTML、CSS、JavaScript を含むバックオフィスのページを .NET で生成します。顧客向けのパーツについては、Web 向けには Angular フレームワーク、モバイル向けには Android を使用します。

GeneXus で自動的に行われる処理が分かるようにジェネレーターの名前を挙げましたが、実際にはこれらの言語に関する知識は必要ありません。

Linux または Mac に対応した新しい GeneXus M (GeneXus のマルチプラットフォーム IDE) が近いうちに公開される予定ですが、このコースでは使用しません。

## アプリケーションのプロトタイプ



ローカル



GeneXus クラウド

プロトタイプを作成はローカル (サーバーとデータベースが開発マシンにある) またはクラウド (サーバーとデータベースが GeneXus クラウドにある) で行うことができます。クラウドの場合、Web サーバーのソフトウェアやデータベースをコンピューターにインストールする必要がありません。

試作のため、クラウドプロトタイプの機能もあります (Amazon クラウドが使用可能)。この場合、インストールが大幅に簡素化され、アプリケーションに入力されるデータにモバイルデバイスからアクセスできます。